

石油風呂釜 御注意！ - 西日本防災システム

製品評価技術基盤機構からの呼び掛けです

特に冷え込みが激しくなる1月から3月にガスや石油の風呂釜の事故が増える傾向にあるため、製品評価技術基盤機構が注意を呼びかけています。

同機構によりますと、家庭で使用するガス風呂釜や石油風呂釜の事故は2012年度までの5年間で計847件発生しており、このうち5件が不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災などによる死亡事故となっているそうです。

事故の原因として、点火レバー方式の古いタイプの風呂釜で、種火がなかなかつかずに点火作業を繰り返して風呂釜にガスがたまって爆発するケースや、水を入れ忘れて空だきをしたことによる火災などが多いそうです。

同機構は、取り扱い説明書の使用方法を厳守するとともに、年式の古い風呂釜についてはしっかりと保守点検を行うよう呼びかけています。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 